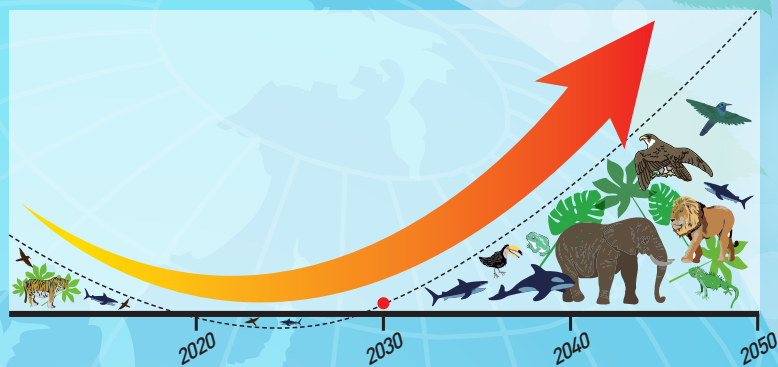


ネイチャー・ポジティブを 地域にどう落とし込むか？

～生物多様性地域戦略と多様なパートナーの参加～

生物多様性条約COP15では、2030年には生物多様性の減少を反転させ、2050年には元のレベルまで戻すというネイチャーポジティブを含む生物多様性枠組が採択されました。日本政府は、このネイチャーポジティブを掲げた生物多様性国家戦略を閣議決定しましたが、この目標を実現するためには自治体レベルでネイチャーポジティブを実現することが重要です。生物多様性地域戦略の策定に取り組むつくば市において、ネイチャーポジティブをいかにして、地域の課題とすることができるかを考えます。



2023年

12月2日 **土**

受付 13:00 ~

学生による
ポスター発表

13:30 ~ 14:30

シンポジウム

14:30 ~ 17:00

場所：筑波大学中地区第二エリア2H棟101

参加費無料

<パネリストと講演テーマ>



道家 哲平

国際自然保護連合日本委員会事務局長
公益財団法人日本自然保護協会保護教育部

「生物多様性条約とネイチャーポジティブ」



石濱 史子

国立環境研究所生物多様性領域主幹研究員
つくば市生物多様性地域戦略策定懇話会委員

「身近な自然共生サイトから
世界目標30by30に貢献しよう」



上條 隆志

筑波大学生命環境系教授
つくば市生物多様性地域戦略策定懇話会座長

「つくば市の生物多様性と大学の役割」



千田 智之

つくば市生活環境部環境保全課環境管理係長

「つくば市の生物多様性地域戦略の
策定状況」

下記ウェブサイトよりお申し込みをお願いいたします

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScVuDCEgfSE50Z6g9nnixvEsVEaq0p7-ZFcNOMS-tR76JggYQ/viewform>



お申込み期限 ▶ 11月27日(月)まで

開催場所のご案内

つくばエクスプレス「つくば駅」下車、地上の6番バス乗り場から「筑波大学中央」行きまたは「筑波大学循環」に乗車し、「筑波大学中央」バス停下車(自家用車の方は、大学本部棟の南の駐車場に駐車してください)。総合研究棟 A の前を通りすぎると駐輪場があります。その先の建物に「2H 棟」という表示が見えます。

筑波キャンパス 中地区

エリア名	施設名称
第一エリア	1 総合・第2総合
農林技術(農場)	2 つくば機能植物イノベーション
エリア	3 研究センター(農場)
一の矢舎舎	3-1の矢舎生宿舎
エリア	4-1の矢舎生活センター
実験センター	5 放射線・アイソトープ地球システム研究センター
エリア	(環境動態予測部門)
	6 TARAセンター
	7 産学リエゾン共同研究センター
	8 バイオ・マテリアル植物生産研究棟
	9 プラスマ研究センター
	10 リサーチユニット 環境バイオマス・エネルギーシステム
	11 エンバワースタジオ
	12 研究基盤総合センター(工作部門)
	13 研究基盤総合センター(低温部門)
	14 放射線・アイソトープ地球システム研究センター(応用加速部門)
	15 共同研究棟C
	16 研究基盤総合センター(分析部門)
	17 プロジェクト研究棟
	18 放射線・アイソトープ地球システム研究センター(放射線研究部門)
	19 筑波大学アーカイブズ、中央機械室
第三エリア	20 第3体育館
	21 3A~3D・G、3K、3L棟/システム情報エリア支援室
	22 工学系学系棟
	23 理科学系棟
	24 共同研究棟D
	25 総合研究棟B
	26 サイバニクス研究棟
第二エリア	27 つくば機能植物イノベーション研究センター(遺伝子実験センター)
	28 生物・農林学系棟
	29 第1体育館
	30 総合研究棟A
	31 2A~2E、2G、2H棟/生命環境エリア支援室、人間エリア支援室
	32 文科系学系棟
	33 人間系学系棟
	34 環境防災研究棟/山岳科学センター
第一エリア	35 中央図書棟
	36 人文社会学系棟
	37 共同利用棟A
	38 共同利用棟A
	39 共同利用棟D
	40 1D~1G棟/スケジュールデンドラザ
	41 1A~1C、1H棟/人文社会エリア支援室、教職員エリア支援室、
	スケジュール・コマース、総合学域アカデミックサポートセンター
	42 文科系サークル会館
	43 自然系学系棟
	44 計算科学研究センター
本部棟	45 本部棟、本部アネックス棟
エリア	

